

誠信交隣 — 文化理解と知新精神 —

Sincerity Business Relationship between Japan and Korea : Cultural Understanding and the New Spirit of Developing New Ideas

山田 恒子
Kyoko Yamada

近畿大学
Kindai University

キーワード：雨森芳洲、誠信、交隣提醒、たはれ草、東アジア

はじめに

現在、コロナ禍という人類未曾有の災害に見舞われ、世界各国はこれまでにない経済的打撃を被っている。しかしそのことによってこれまであまり見られなかった多くの問題が表面化し、従来のやり方では解決し得ないことが多いことも分かってきた。日本と韓国は古来より官民間わず交流があり、多くのノウハウが蓄積されている。今回、専門分野である朝鮮古典文学と関連する人物で、国際的に活躍した雨森芳洲（1668-1755）に着眼し、東アジア経営のヒントを考察する。そこで本研究では、芳洲の「誠信交隣」について述べる。「誠信交隣」とは「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わること」である。雨森芳洲はその中で、事実を文書記録し保管することや文化理解の大切さを主張しており、これは現代の国際経営戦略にも通じる。また今後は創造性が最も重要であり、危機的状況をビジネスチャンスととらえ、「環境」や「物流」さらには「人流」にも革新をもたらすようなイノベーションが求められている。そして多種多様な人と物の活用と交流が大事であり、利益を社会に還元し、自他共に幸せな世の中を創造していくことが何より大切だと考えられる。

1. 芳洲と「誠信交隣」—信頼関係の積み重ね

日韓関係において最も大切なことは先入観を持たず信頼関係を築くことだといえよう。

古来、日本と朝鮮は歴史的経緯からくる華夷主義的観念のため互いに反目し合うことが多かつた。

例えば日本においては、本居宣長（1730-1801）の『馴戒慨言（1769）』に見られるように、新羅が朝貢国であり、三韓征伐が行われたことから、日本を朝鮮より優越したものとみなす日本の華夷主義観念¹⁾があり、一方で、朝鮮においては、朱子学の正統性を守り続けたことから、明の滅亡後は自らを小中華と称し²⁾、朝鮮を日本より優越したものとみなす朝鮮的華夷主義観念が存在した。

しかし、これらの中国の影響による自他意識は、現代においては無益である。³⁾ 目まぐるしく変遷する今、大切なのは雨森芳洲が『交隣提醒（1728）』⁴⁾にある「誠信交隣」といえよう。「誠信交隣」とは「互いに欺かず、争わず、真実をもって交わること」である。

誠信の交わりというのは、人々がいう事ではあるが、大抵その言葉の意味を明確に分かつ

ていない。誠信というのは実意⁵⁾という事で、互に欺かず、争わず、真実をもって交わることを誠信というのである⁶⁾。

その語源は1727年、草梁⁷⁾の地に修改築した「誠信堂」⁸⁾すなわち朝鮮側の対倭館官庁の設立に由来する。長年荒れ果てて倒壊寸前だった対倭館官庁の完成に、私財を投げ出して尽力した玄徳潤（1676-1737）⁹⁾が、その扁額に「誠信」と記したのである¹⁰⁾。雨森芳洲はいたく感動し、「誠信堂記（1730）」¹¹⁾としてそのことを記録している。

玄君はすぐれた詩人であるのに、この堂を名付けるにあたり、詩心からは一切取らず、誠信堂と名付けた。それは私の思うに、交隣の道は何よりも誠信にあり、それによって隣国との平和も可能になるからだ。（中略）玄君の人となりは沈思默考、国に仕えて慎み深く、自重自戒、後進にも誠信に基づく交隣の道を心から進めようとしている。私は己酉の年¹²⁾、対馬より遣わされてこの地に来て、玄君のこのような美挙を目の当たりにし、思わず心動かされてこの堂記文をしたためたのである。一七三〇年八月十四日¹³⁾

このような芳洲の「誠信の交わり」は当然のことながら現代における日韓ビジネスにも大いに関係するだろう。ほかならぬ三百年前に朝鮮と対馬藩との貿易担当をしてきた芳洲の言葉こそ、今現代のわれわれが耳を傾けるべきものであるといえる。そして「誠信」すなわち「互に欺かず争わず、真実を以て」交渉を行うということは信頼関係を築いていく第一歩となる。つまりは「誠信」の積み重ねによる実績がものをいうのであって、「長い時間をかけて、共通の体験を経ることによってようやく育まれる」¹⁴⁾ものだといえるだろう。

2. 記録と冷徹な分析—成功へのサイクル

また雨森芳洲は自著『たはれ草』の中で、事実を文書記録し保管することの大切さを述べており、これは現代の国際経営戦略にも通じるところがある¹⁵⁾。

この国には記録が少ない。おおよそ記録というのは、知乱興亡¹⁶⁾の跡、万世までの戒めとなることを貴重なものとして記すのであって、不必要ないくさ物語ばかり書き散らすのは、本当に紙の無駄使いといえよう。唐土¹⁷⁾の事を引用するより、「この国の誰それにこのような良い言葉があり、また誰それにはこのような良い行いがあった、誰それはそうでなく家が絶え国が滅んだ」といえば、人の心に感じること、唐土の物語よりは、はるかに勝るであろうに、記録のないことが惜しい。唐土でも、記録を作るのには、才智、学問、識見の三つに長けていなければという。たやすい事ではない。どの国にも、日帳・日記など、書き記す事はある。年を積んで見れば、そうした書物の類は多いが、大抵は曇り晴れなどの類の事ばかり書いて、政務人事と関連する議論や号令まで、詳細に書いたものは稀である。疑わしいことがあれば、経験ある年配の人に尋ねて決めることが多い。それも五六十年以上には及ぶまい。記録さへ確かならば、幾百年でも長生きした人を左右に置いているのと同じであろうに。そんなわけで、この国の知恵が、唐土に及ばない理由の一つは、記録に乏しいからだろう¹⁸⁾。

ここで芳洲は、日本では軍記物語の類は多いが、訓戒の記録が少なく、後世の参考にならないことを嘆く。また記録を作るには才智、学問、識見に優れた者が必要で、簡単なことではな

いことを示唆している。さらには過去の日記類をみても政務、人事にかかわる議論号令まで詳しく書いたものが少なく、疑問に思うことがあれば、年寄りに聞いて終わらせてしまうことが多いとしている。確かな記録さえあれば何百年も参考として残るのに、そうでないのは、日本の知恵が中国に及ばない所以だと述べている¹⁹⁾。近年、日本においては公文書管理の杜撰さがようやく認識されるようになってきたが、これは万事においての基本である。何かトラブルがあり、失敗したとしても、記録による冷徹な分析が必要で、ないままであれば、いつまでたつても未来の成功にはつながらないといえよう。

事例を挙げると、「環境」や「物流」に関連するトラブルがあげられる。

ヘーベイ・スピリット号原油流出事故
アシアナ航空162便着陸失敗事故
ゴールデンレイ号転覆事故
貨物船「WAKASHIO（わかしお）」原油流出事故

ヘーベイ・スピリット号原油流出事故は、2007年12月7日に韓国泰安郡の黄海海域で起きた石油流出事故で、アシアナ航空162便着陸失敗事故は、2015年4月14日に日本の広島空港で発生した韓国アシアナ航空旅客機による航空事故である。いずれも環境や物流に大きな影響が及んだ。

ゴールデンレイ号転覆事故では、2019年9月に米ジョージア州の大西洋沿岸の港近くで、現代自動車グループの物流会社「現代グロービス」の自動車運搬船が転覆し、環境はもちろん、物的損失も2億400万ドルに及ぶと推定された²⁰⁾。

これらに共通していえるのは、何か事故が起こったとき、上手くいかなくなったら時の対応や対処法、保険など十分に考えられていないことである。PDCAサイクル²¹⁾がうまく機能するように、改善策を常に考える必要があるだろう。環境や物流に関するトラブルは国境を越えた影響を及ぼすことが多く、常に冷徹な分析と記録そして克服が求められる²²⁾。また上で挙げたように、日本においても、2020年7月にモーリシャス沖で貨物船「わかしお」が座礁、サンゴ礁やマングローブ林を汚染し、法的責任、説明責任だけでなく、社会的責任まで問われた事故が発生している²³⁾。近年は貨物船も巨大化しており、大きな事故を発生させる可能性もより高い。このような物流と環境に影響する事故が起こらないよう、きちんと記録を残し、安全に対する国際共通認識が求められる。

一方で、危機的状況をビジネスチャンスととらえ、行動していくことも大切である。

事例として「八天堂のくりーむパン」を挙げる。八天堂は街のパン屋さんであるが、「口どけ×クリームパン」というコンセプトで、冷凍保存できるクリームパンを開発した。広島空港の近くに工場があることから全国展開をはかり、海外にも拠点を設けている²⁴⁾。

明らかなことは未来に向けてはベンチマー킹ではなくて創造性が重要であろう。今や手本になる事例を探すよりは、新しいものを作り出す創造的革新がより多く求められている。ベンチマー킹の場合、韓国や中国ではコピー商品に繋がりやすい傾向がある。Me Too戦略ではグローバル経営にはつながらないといえよう。

そして危機的状況をビジネスチャンスととらえ「環境」や「物流」さらには「人流」にも革新をもたらすようなイノベーションが求められている。また現代においては、AI、ビッグデータ、DXを駆使した²⁵⁾市場開拓や顧客調査など、自他の特性や慣習を客観的に分析した上で、ニーズに合う商品を造り出し、ライブコマースなど、これまでにない方法でも市場開拓する力

が求められている。

3. 相互理解と革新

雨森芳洲は『交隣提醒』で日本と朝鮮の風儀が異なっていることを指摘し、文化理解の大切さを提唱している。

日本と朝鮮とは諸事風儀が違い、嗜好もそれに応じて違う故、そのところを熟考しないで日本の風儀をもって朝鮮人と交われば、場合によっては食い違う事が多い。（中略）この他にも、日本で宜しいと思う事を朝鮮人は宜しくないと心得、日本が宜しくないと思うことを朝鮮人は宜しいとすることが限りなくある故、朝鮮との諸事を担当する人は、そのような所に気をつかうべきである。朝鮮は専ら中華²⁶⁾を学ぶ風儀なので、書物の上でもしっかりとそれを心得ておけば、十中八九までは朝鮮の風儀も推し量ることができるだろう。とにかく学問、これがないようでは、この務めを成し遂げられないだろう²⁷⁾。

芳洲の考えによれば、日本と朝鮮では風儀が異なっており、価値観自体も真逆になるようなことが多々あった。その例として、日本と朝鮮の美意識が相当異なっていることが挙げられる。

日本では大名の輿夫^{こしかき}が寒天に尻をみせて、鑓^{さむぞら}を持ち、挟み箱^{やり}²⁸⁾を持ち仮鬚^{つけひげ}を塗り、足拍子²⁹⁾を取っているのを見て、きっと朝鮮人が心から立派だと思うに違いないと考えるが、朝鮮人の心には、尻をまくるのは無礼、仮鬚を塗るのは異様なことと思い、足拍子を取るのは肉体労働を促す動作だから、不細工な事だと、内々にて笑っているに違いない³⁰⁾。反対に、朝鮮人の心には、その身を挺して喪礼を行ひ哭泣する様子は、日本人が見たら感じ入るに違いないと思うが、かえって嘲りになるだろう。この類を例として、日本と朝鮮、互いの心に尊ぶところを察してものを言わなければならない。これ以前に、国王の庭には何を植えていますか、と尋ねた人がいる。朴僉知³¹⁾が麦を植えてござりますと返答したところ、さてさて下国であることよと手を打ち笑った人がいた。草花の類を植えない事はありえないが、国王の身分で農事を忘れないということが、古来より人君の美德であるが故に、日本人が感じ入るだろうと思い、そう答えたのだが、かえって日本の嘲りを受けてしまったのだ。諸事につけ、よく心得るべき事である³²⁾。

日本人は行列で尻を出し付け髭をつけ挟み箱を運ぶ様子を立派に思ったようだが、朝鮮人は下品に感じ、反対に朝鮮人は葬儀の際に大声を上げて慟哭するが、日本人は行き過ぎた感情の表出を苦々しく思ったようだ。それゆえ芳洲は、互いに相手をよく理解し、何を価値あるものとしているのか考えてから言動をおこなうべきだという。

また次の内容を見ると日本人が出立の準備に手間取り、約束の時刻を過ぎてしまうのに対して、朝鮮側では鳴り物に合わせて時刻通りに行動していたことが記されている。

日本と朝鮮は嗜好や風儀が違うのであるから、日本の嗜好や風儀をもって朝鮮人ことを察したら、必ず了簡³³⁾違ひになるといえよう。（中略）その外、信使³²⁾の時を見るに、ラッパー吹で出立の合図を聞き、二吹きで整列し、三吹きで出発するが、一人も遅れたことがない。船の乗り降りも同様である。午前四時、午前六時と申し合せ、定まれば、向こう側は少しも遅れたりしない。日本人は髪を結い、手洗いをし、股引に脚絆^{きやはん}をつけ、刀と脇差

をさし、印籠と巾着をさげて準備する内に、午前四時は午前六時になり、午前六時は午前八時になり³³⁾

このことは「決定されたことに対して行動が素早い」朝鮮に対し、「入念な下準備に手間取る」日本という図式が見えはしないだろうか。たとえるならば、日本で「いいですね。検討してみましょう」³⁴⁾と言いついてから入念にあれこれ考え始めるのに対して、韓国では「始まりが全ての半分である」と言い始めたらすぐに走り出しているスタイルの違いで、どちらがいいとは一概に言えないが、このような特徴があるといえよう。よって両者ともに良いところを互いに生かせるような環境をつくり、創製・協働・相互承認³⁵⁾していく必要があると考えられる。ただしこの為には前項目で述べたように互いの信頼関係がまず重要である。

また朝鮮時代は女人禁制の倭館で男のみが商売に携わっていたが、二十一世紀は女性のトレンドや経営パワーなどをはじめ、多種多様な人と物の活用と交流が大事である。特に朝鮮時代の女性商人である金萬德（1739–1812）³⁶⁾に象徴されるように、利益を社会に還元し、自他共に幸せな世の中を創造していくことが何より大切だと考えられる。金萬徳は濟州島に生まれ、幼いころ天涯孤独となり、やむなく妓女となつたが、養母が亡くなつた後は、濟州島の特産物を本土に卸し、本土からは生活必需品など³⁷⁾を濟州島に仕入れる稼業を行つていた。1795年ごろ起きた濟州島の飢饉³⁸⁾で、全財産をはたいて島民を救つたため、時の王である正祖より行首医女³⁹⁾に命じられ、当時女性が濟州島を出ることは禁止されていたにもかかわらず、都である漢陽へ上がつた稀有の人である。

そして今後の流れとしてはSDGsやパリ協定など我々が地球人として行動しなければならないことが多くなり、全ての人々の利益と幸せにつながるような経営精神が求められるといえよう⁴⁰⁾。

むすび

これまで雨森芳洲の「誠信交隣」をはじめ、事実を文書記録し保管することや文化理解の大切さについて言及し、現代の経営戦略にも通じる事を述べた。朝鮮との貿易や対馬経営を任せられた芳洲の言葉は経験に裏付けされたものであり、今後も我々の参考になつていくものと考えられる。現代においても日本と韓国は、共に官民を挙げて多くの交流があり、日韓のみならず、日中韓を含む日中韓協力事務局（TCS）も開かれている⁴¹⁾。そして現代の我々に与えられた課題は革新という意味で、過去のものとは異なる新たな局面を迎えているのもまた事実である。以下、本研究で述べた重要な事を基に「まとめ」を作成し、結論としたい。

まとめ

その一、先入観を持たず信頼関係を築く「誠信交隣」

その二、自他の特性や慣習を知り尽くし、客観的事実や分析に基づく経営

その三、デジタル化や新技術による革新、競争以上の創製・協働・相互承認

その四、多種多様な人と物の活用と交流、利益の社会還元と自他の幸福

注

- 1) これらの思想は『古事記（712）』『日本書紀（720）』『経国集（827）』『神皇正統記（1339）』『中朝史実（1669）』より続いてきた伝統的系統であり、「天命」と「易姓革命」を否定するという点で中華思想に対する強烈なアンチテーゼとなっている。また明治維新の際は尊王論となって現れ、現在に至るといつても過言ではない。
- 2) 「中国との一体化の強調は、朝鮮自身を中国出自の民族である〈箕子〉という伝統の創造にまで至っており、朝鮮にとって建国当初より〈中国と一体化する〉ことがナショナル・アイデンティティに関する最重要課題であったと考えられる。」井上厚史「朝鮮と日本の自他認識—13~14世紀の「蒙古」観と自己認識の変容」（『北東アジア研究（別冊3）』島根県立大学北東アジア地域研究センター 2017年）p.38。朝鮮中華思想を最も具現する象徴が1704年に明の皇帝の祭祀を行う大報壇を建立したことにある。最初に神宗が祀られ、英祖の頃には、明の太祖と最後の帝であった毅宗の祭祀を行うため万東廟を建てた。1884年の甲申政変以降は廃止された。鄭玉子『朝鮮後期朝鮮中華思想研究』（一志社 1998年）。
- 3) 井上氏が指摘するように日本と朝鮮は「両国人の自他認識に〈北東アジア〉という新たな空間認識（世界観）を生み出すまでには至らなかった」点が今後の課題として、大きく残るだろう。井上厚史「上掲論文」p.46。
- 4) 1728年12月20日に記された。
- 5) 本意、誠の心。田代和生校注『交隣提醒』（平凡社2014年）p.186。『交隣提醒』の引用はすべてこの書による。旧漢字は新漢字に直し、現代語訳は筆者による。以下同様。
- 6) 「誠信之交と申事人々申事ニ候へとも、多ハ字義を分明ニ不仕事有之候、誠信と申候ハ實意と申事ニて、互ニ不欺不爭、眞実を以交り候を誠信とは申候」（田代和生校注『上掲書』p.185）。
- 7) 現在の釜山広域市中区中央洞に位置した。
- 8) 「草梁公廨」すなわち草梁公館にあった「誠信堂」は朝鮮側の首席訳官である訓導の居所で、次席訳官である別差の居所である「別差序」、中央から派遣される訳官たちの居所の「出使序」などがあった。信原修『雨森芳洲と玄徳潤』（明石書店 2008年）pp.18-19, p.24）。
- 9) 玄徳潤は代々訳官の一家に生まれた。詳細は信原修『上掲書』参照。
- 10) 玄徳潤「堂記文（1730）」には「遂にその堂を誠信と札を掲げ、皆が額を書いてはどうかというので、この役目を仰せつかった。額に名を題するはこの上ない幸せであり、拙いことは承知の上で、大きく誠信と書いた」とある。
- 11) 『東萊府誌（1740）』一七「草梁公廨条」には芳洲を含め「誠信堂」に関する以下の四人の「堂記文」に関する記録が収録されている。東萊府使權宇「堂記文（1728）」、玄徳潤「堂記文（1730）」、雨森芳洲「誠信堂記（1730）」、東萊府使李重協「堂記文（1732）」。この他に後日談として東萊府使尹弼秉の記録（『釜山府史原稿』、東京都立中央図書館特別文庫室所蔵『草梁話集』）もある。
- 12) 1729年をさす。
- 13) 信原修『上掲書』pp.17-18。雨森芳洲「誠信堂記」の訳文は信原修の訳を参考にした。
- 14) 小川仁志『世界のエリートが教養として身につける「哲学用語」事典』（SBクリエイティブ 2019年）p.184-185。小川によれば、日本の企業について、「和辻の指摘する間柄が倫理の基礎になっている」とする。間柄とは、「個人にして社会であること」「社会の中でとらえた個人」ということで、「人間関係をもっとも重視したり、個人よりも組織を優先する態度が多くみられる」のもこの間柄による。日本人は「間柄が個人に先立つことによって、お互いに助け合うのが当然だ」と考えるが、やみくもに誰とでも助け合うわけではなく、そこには「信頼が必要」であり、その根拠として時間の概念があるという。そして「過去の信頼があるからこそ、未来においても信頼でき」、「信頼を得るために実績が必要」で、「それは共同体の中で長い時間をかけて、共通の体験を経ることによってようやく育まれる」とする。K-pop産業が日本の若者に大いに受け入れられているのも、「世界的スターを目指してオーディションを受け、同じ養成所の中で共に切磋琢磨するという過程」によって「絆と信頼が生まれている」からだといえよう。しかし、それは時には厳しく過酷であり、芸能人の自殺も多いことから、今後はメンタルケア分野での多くの支援が必要だと考えられる。一方で、信頼できる商品を産出するためには東アジアにおいて世界的基準や賞などを設けていく必要がある。釜山国際映画祭はその良い例になるが、それ以外の多くの商品に対しても広げていく必要がある。日本の場合、モンドセレクションに多くの商品を受賞させ、日本デザイン振興会の「グッドデザイン賞」、官学一体による特許庁の「全国地域ブランド総選挙」、その他にも「外宮奉納証」など、地方の商工会議所がブランドの確立に寄与している。

- 15) 誠信の交わりと関することで特筆すべきは、朝鮮通信使の始まりが、朝鮮側に弊害や負担が大きかったにもかかわらず、対馬人の性が荒々しく猛々しいことを恐れたためであり、安穩として怠慢に過ぎれば、必ず己の身にしつべ返しとなることを指摘している点である。また『経国大典（1485）』『攷事撮要（1554）』に加え、阿比留恒久（?-1710）の『善隣通書（1698）』『善隣通交（1711）』、松浦允任（1679-1728）の『通交大紀（1725）』、対馬藩資料『分類紀事大綱（1721-1727）』を熟読することを薦めている。さらに同じ漢字を使っていても日韓で字義が異なることを指摘し、「敵国」「蕃屏」の意味を朝鮮側の「対等な国」「防禦屏」ではなく「かたきの国」「家来が主人に対する言葉」ととらえてしまうので、学問・才力に勝る人が事に当たらなければ如何に尽力しても交隣が立ち行かないことを指摘している。田代和生校注『上掲書』p.111, p187.
- 16) 政治がうまくいったり乱れたり、国が興ったり亡びたりすること。欧阳脩の『朋党論』に拠る。
- 17) 日本から中国をさす呼び名。 もろこし。
- 18) 「この国には記録少なし。おほよそ記録といふは、知乱興亡のあと、万世までの觀戒となるをこそたうとめ、いらざるいくさ物語のみかきちらしたる、まことの紙のついへとやいふべき。もろこしの事を引かんよりは、この國のなにがし、かかるよき言葉ありき、またなにがし、かかるよき行ひありき、なにがしがしはさなくて、家やぶれ、國はろびたるなどいはば、人の心を感じる事、もろこしの物語するには、はるかまさるべきに、記録のなきこそおそらく侍れ。もろこしにても、記録を作るには、才学識の三長なければといへり。たやすき事にはあらず。いづれの国にも、日帳日記などいひて、かきしるしをく事あり。年をつみて見れば、牛に汗し、棟に充つるほどなれど、おほかたは曇り晴れたるなどいへるたぐひの事のみかきて、政務人事にあづかりたる議論号令まで、くはしくかきたるはまれなり。うたがはしき事あれば、としばへなる人こそとて、とふて決する事多し。それも五六十年にはすぎじ。記録さへたしかならば、幾百年ともなき、ながいきしたる人を、左右にをけるに同じかるべし。さればこの國の知恵、もろこしに及ばざるひとつは、記録のともしきひゆへにや」水田紀久ほか『仁斎日記 たはれ草 日野龍夫』（岩波書店2000年）pp.73-74. 『たはれ草』の現代語訳は筆者による。以下同様。「牛に汗し、棟に充つるほど」とは、書籍の量の多いことをさす。
- 19) ここには高い能力を持ちながら低い地位に甘んじなければならなかつた芳洲の個人的述懐もふくまれていよう。しかししながら現代に生きる人々にとって重要な言葉であるといえる。
- 20) ゴールデンレイ号の損失に関しては以下の記事に詳しい。参考 URL : <https://news.sky.com/story/golden-ray-shipwreck-crew-members-bad-maths-sank-cargo-ship-carrying-thousands-of-cars-report-finds-12408292> (2021年9月20日付)。ゴールデンレイ号の公式事故報告書が、2021年8月26日付けで NTSB (National Transportation Safety Board、国家運輸安全委員会) から発行されている。参考 URL : Capsizing of Roll-on/Roll-off Vehicle Carrier Golden Ray, St. Simons Sound, Brunswick River, near Brunswick, Georgia, September 8, 2019 (maritimecyprus.com) NTSB Docket - Docket Management System (2021年9月20日付)。
- 21) 日本でのPDCAは計画(Plan) - 実行(Do) - 評価(Check) - 改善(Action)と訳されることが多い。近年、早い時代状況の変化に伴い、OODAループも注目されている。観察(Observe) - 情勢への適応(Orient) - 意思決定(Decide) - 行動(Act)といった機動力の素早さはどちらかと言えば韓国経営のほうが得意とするところだろう。
- 22) ヘーベイ・スピリット号原油流出事故に関しては結論において、以下の三つの提案がなされている。ボランティアをより効果的に管理するためのプログラムを開発すべきである。機材に関して継続的な訓練を受ける。海岸防除の責任を適切な関係者間（地元自治体、道、中央政府）で分担する。参考 URL : <http://www.pcs.gr.jp/doc/jworkshop/2009/doc/022JWSUHWOO-RACK.pdf> (2021年7月18日付)。
- 23) 船舶をチャーターしていた商船三井は、社会的責任を重んじ、モーリシャス環境回復・社会貢献活動を行っている。参考 URL : <https://www.mol.co.jp/sustainability/incident/index.html> (2021年9月21日付)。
- 24) 地元のスーパーの要望に応え、長く愛される商品を絞り、集中投資して開発された。スタンダードな「あるもの」と「あるもの」を組み合わせたときイノベーションは起こるとし、「ロドケ×クリームパン」という組み合わせを発見、広島空港から全国に商品を届ける。スイーツパン専門店のブランド確保、2020年に八天堂ビル内「空の駅 オーチャード」開設している。爆売れ「八天堂のくりーむパン」の意外な軌跡。参考 URL : <https://toyokeizai.net/articles/-/269606> (2021年7月21日付)。
- 25) 今後は「越境ECによる電子商店街」もますます盛んになると考えられる。またコロナ禍で最もDX化が進んだ企業の一つとしてウォルマートが挙げられる。「ウォルマートが世界最強小売企業の座を固めた訳」参考 URL : [http://toyokeizai.net/articles/-/433140](https://toyokeizai.net/articles/-/433140) (2021年7月20日付)。

- 26) 中国をさす。当時、朝鮮では崇明排清を標榜し、漢民族の伝統文化を継承していた。日朝における中華觀は異なつており、それは宋時烈（1607-1689）によるところが大きい。崇明排清については次の論文を参照されたい。文純実「十八世紀朝鮮における対外意識の変化について—特に華夷觀を中心に」『駿台史学』明治大学 vol.96 1996年).
- 27) 「日本と朝鮮とハ諸事風儀違い、嗜好も夫ニ応し違ひ候故、左様之所に勘弁無之、日本之風儀を以朝鮮人へ交候而ハ、事ニより喰違候事多ク有之候。(中略) 此の外ニも日本にて宜キと存候事を朝鮮人ハ不宜と相心得、日本ニ不宜と存候事を朝鮮人ハ宜候と存候事限茂無之事ニ候故、朝鮮幹事之人ハケ様之所に心を用可申事ニ候、朝鮮ハ専ラ中華を學候風儀ニ候故、書物之上ニ而得と唐之風儀を合点いたし候へハ、十二八九迄ハ朝鮮之風儀も推而知レ申事ニ候。兎角学問無之候而ハ此義も難成事ニ候」田代和生校注『上掲書』pp.50-51.
- 28) 携行用の箱、大名列などで、着替え用の衣類一式を中に入れて、棒を肩にかけてその先に黒塗り定紋付きの木箱を下げて担がせた。
- 29) 朝鮮の支配階層である両班は肌を見せず、動作も重々しく行うのが常であった。足拍子で練り歩くさまは、労役に就く下々の挙動と見られ嘲笑の対象になると芳洲は考えたのだろう。
- 30) 創知とは官職名、正三品、堂上官に相当する。ここでは王の特任をうけた訳官。
- 31) 「日本ニ而ハ歴々之輿夫寒天ニも尻をまくり、鎧持・挟箱持ハ仮鬚を塗り、足拍子を取り候而、定而朝鮮人之心ニリつはなると存可申かと思候へハ、朝鮮人之心ニハ尻をまくり候を無礼と見、仮鬚を塗り候ハ異形なる事と存し、足拍子を取り候ハ労役を招キ候不調法なる事ニ候と、内々ニ而笑候より外ハ無之、又朝鮮人之心には其身共の喪を務、哭泣いたし候体日本人見申候而ハ感し可申と存候へハ、けくハあさけり候様ニ有之候、此類にて日本・朝鮮志尚之ある所を察し可申事ニ候、此以前国王之庭ニハ何を種へ被置候哉と尋候人有之。朴創知返答ニ麥を種へ被置候と申候得ハ、扱扱下國に候と手を打笑たる人有之候、定而草花の類少ニても不被種置候事ハ有之間鋪候へとも、国王之御身ニ而稼穡を御忘れ無之と申候ハ古來人君之美徳ニいたす事ニ候故、定而日本人感し可申と存、右之ことく答候所ニ、却而日本之嘲りを受申候、諸事此心得可有之事ニ候」田代和生校注『上掲書』pp.50-51.
- 32) 信使とは外国からの使者、使節で、ここでは朝鮮使節をさす。
- 33) 「日本・朝鮮嗜好・風儀の違い候所ニ、日本之嗜好・風儀を以朝鮮人之事を察し候而ハ、必ハ了簡違ニ成可申候。(中略) 其外信使之時見申ニ、一吹ニ而発足之触を聞、二吹ニ而そろい、三吹ニ而出行被致候ニ一人も後レ候者無之。船の乗り下りとても同前ニ候故、七ツ立六ツ立と被仰合、定り候へハ彼方ニハすこしも遅り候事無之候。日本人ハ髪を結ひ、手洗をし、股引・脚絆をし、刀・脇差をさし、印籠・巾着をさげ可申といたし候内ニ、七ツ立ハ六ツニ成り、六ツ立ハ五ツニ成り候」田代和生校注『上掲書』pp.54-55.
- 34) 日本におけるビジネス用語の「検討する」は多分に「否定」の意味があるので、内容や返答の期日を明示しなければならない。
- 35) ここで相互承認とは新しいものを生み出すため、環境、安全、安心のための世界的指標となるような基準を設け、互いを認め合い、強みを生かせる関係を築くことをさす。
- 36) 金萬徳や濟州島の記録に関しては、蔡濟恭「萬徳伝」(『樊巖集』収録)を始め、以下の書籍に詳しい。『正祖実録』、『日省録』、『안대희 『조선을 사로잡은꾼들』(한겨레출판 2010年)、『윤치부 『의녀 김만덕 활약상 자료조사 연구 보고서』(金萬徳記念事業会 2004年)。
- 37) 濟州島からは特産物の牡蠣、わかめ、馬毛、冠の材料を本島からは布、装飾品、化粧品を購入して販売したとされる。参考 URL : 한국역대인물 종합정보 시스템 - 한국학중앙연구원 (aks.ac.kr) (2021年7月20日付)。
- 38) 『正祖実録』卷四二、正祖二〇年(1796)一月一五日壬戌条「濟州三邑、再昨冬所抄飢口、爲六萬二千六百九十八口、而昨冬所抄饑口、爲四萬七千七百三十五口、則一年之内、所減縮、爲一萬七千九百六十三口」によれば、当時一年間で一万人以上亡くなっていたとされる。また以下の論考では、人口14963名が減少したとされる。金ナヨン「一八・一九世紀濟州社会と金万徳の生涯再考察」(『歴史民俗学』韓国歴史民俗学会 vol.56 2019年) pp.179.
- 39) 朝鮮王宮にいた官婢であった医女たちを統率するリーダー。朝鮮時代の医女は医業だけではなく宴席での接待も行わなければならなかつた。また官妓にはない公給が、医女にはあった。
- 40) 近年では日韓だけではなく中国も含めた取り組みが注目される。たとえば電気自動車の分野で2020年にトヨタ自動車とBYD(比亜迪)が中国国内に合弁会社を設立したことはその象徴的な例といえる。
- 41) 経済、教育、環境、文化、防災での共同プロジェクト、三国協力国際フォーラム(IFTC)、日中韓記者交流、キャンパスアジアアルムナイ、日中韓共同語彙集など様々なプロジェクトが行われている。

参考文献

- 田代和生校注『交隣提醒』(平凡社 2014年).
水田紀久ほか『仁斎日記 たはれ草 日野龍夫』(岩波書店 2000年).
信原修『雨森芳洲と玄徳潤』(明石書店 2008年).
鄭玉子『朝鮮後期朝鮮中華思想研究』(一志社 1998年).
小川仁志『世界のエリートが教養として身につける「哲学用語」事典』(SBクリエイティブ 2019年).
안대희『조선을 사로잡은꾼들』(한겨레출판 2010年).
윤치부『의녀 김만덕 활약상 자료조사 연구 보고서』(金萬德記念事業会 2004年).
井上厚史「朝鮮と日本の自他認識 — 13~14世紀の「蒙古」観と自己認識の変容」『北東アジア研究（別冊3）』(島根県立大学北東アジア地域研究センター 2017年).
文純実「十八世紀朝鮮における対外意識の変化について — 特に華夷觀を中心に」『駿台史学』明治大学 vol.96 1996年).
金ナヨン「一八・一九世紀濟州社会と金万徳の生涯再考察」『歴史民俗学』韓国歴史民俗学会 vol.56 2019年).

参考 URL

- <https://news.sky.com/story/golden-ray-shipwreck-crew-members-bad-maths-sank-cargo-ship-carrying-thousands-of-cars-report-finds-12408292> (2021年9月20日付).
Capsizing of Roll-on/Roll-off Vehicle Carrier Golden Ray, St. Simons Sound, Brunswick River, near Brunswick, Georgia, September 8, 2019 (maritimecyprus.com) (2021年9月20日付).
NTSB Docket - Docket Management System (2021年9月20日付).
<http://www.pcs.gr.jp/doc/jworkshop/2009/doc/022JWSUHWOO-RACK.pdf> (2021年7月18日付).
<https://www.mol.co.jp/sustainability/incident/index.html> (2021年9月21日付).
<https://toyokeizai.net/articles/-/269606> (2021年7月21日付).
<https://toyokeizai.net/articles/-/433140> (2021年7月20日付).
한국역대인물 종합정보 시스템 – 한국학중앙연구원 (aks.ac.kr) (2021年7月20日付).
http://sillock.history.go.kr/popup/viewer.do?id=kva_12001015_001&type=view&reSearchWords=&reSearchWords_ime= (2021年9月22日付).

